

事例発表などで対策について理解を深める県
や市町村の職員ら＝10日午後2時すぎ、那覇
市泉崎の県庁講堂



「読んで学べるNIE」
度赤土等流出防止交流
集会」（県主催）が10
日午後、那覇市の県庁

赤土流出を防ぐために県民の意
識を高めたり、防止に向けた技術
を集めたりする目的で「2013年

赤土流出防止で集会 県庁講堂 150人参加

講堂で開かれた。県や市町村の職
員ら約150人が参加し、流出防
止に向けた取り組みの発表や意見
交換などが行われた。

事例発表では、大宜味村産業振
興課の宮城翔さんと同村地域耕作
放棄地対策協議会の比嘉真野さん
が、写真を用いて赤土流出防止策
を説明した。

同村では雨が降ると、傾斜地から
赤土が海へ流れ出るため、イネ科の
植物「ベチバー」を畑の周囲に植
えたり、作物を作っていない畑に
は、ヒマワリやソバを植えたりして
流出を防いでいる。また、地域住
民にも問題について知ってもらおう
と、ベチバーの植栽体験も実施し
ている。